

平成 26 年度 第 1 回「由布市子ども・子育て会議」議事録

日時：平成 26 年 5 月 22 日（木）14：00～

場所：由布市役所 庄内庁舎 2 階 健康増進室

<次 第>

委嘱状交付

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 議事内容（由布市子ども・子育て会議設置条例第 5 条）
 - (1) ニーズ調査の結果分析について
 - (2) 26 年度の事業計画について
 - (3) その他
4. 閉会

<議事内容>

(会長)：それでは、事務局お願いします。

(事務局)：はい、それでは、議事内容の順番が前後しますが、(2) 26 年度の事業計画からご説明します。今回、新しい委員さんも入られましたので、復習もかねて再度、(資料)「子ども・子育て支援制度について、今後の事業計画について」のご説明させていただきます。

(会長)：説明ありがとうございます。何かご質問ありませんか。

(委員)：保育所と認定こども園の違いは。

(事務局)：由布市の現状と制度について説明します(制度説明)。由布市には、公立幼稚園と私立保育園があり、すべての私立保育園は、新制度への以降が検討されています。幼保連携型認定こども園になることで、3 歳児から教育を受けることができ、従来に保育と合わせて、3 年間の対応をしていく。合わせて、由布市内の年少人口比率について説明をします。

(会長)：他にございませんか。特になければ次をお願いします。

(事務局)：ニーズ調査の結果及び骨子案について説明いたします。

(委員)：事前に会議資料を配布していただけると助かります。

(事務局)：今後は事前に配布します。就学児童の自由記述に誤りがありました

ので会議後に回収させていただきます。

(委員)：子どもを預かってもらえる人の割合が前回より高くなったが、その預かり先はどこですか。また、満足度が下がっているが、合わせて再調査するのか。合併したから満足度が下がったのか。

(事務局)：それぞれ再調査の予定はないです。

(委員)：自由記述に施設名が出ていますが。

(事務局)：回収させていただき資料を訂正します。

(委員)：今朝の新聞に、「子どもの手先が不器用」だという記事がありますが、皆さんはどう思われますか。こういう子どもたちの将来の事も考えて、計画を作ってほしい。

(事務局)：自由記述の意見の内容も含めて対応検討していく。

由布市としては、「子ども・子育て支援制度」に次世代後期計画の内容を引継いでいく。

(会長)：他にご意見はありませんか。

(委員)：自由記述は、重要な意見だと思う。

(委員)：保護者の価値観等が多様化しているので、記名式のアンケートも両面の見方があると思う。家庭でのあいさつ、掃除などの習慣が身につけていないように感じる。親の側も情報機器（スマートフォン等）の最新情報を入手しないと追いつけない。

(委員)：新計画の理念や目標は新たに見直し、「新しいビジョン」にすべきだと思う。

(会長)：由布市で教育特区などをめざしてはどうか。由布市独自の新しい試みが必要。

(委員)：幼稚園では、靴ひもやのりやハサミや箸の持ち方などを教えている。

(委員)：子育ては、預けずに親がするものだと思っている。

(委員)：小学校と連携をとってやっていきたいと思います。

(委員)：保護者間（友達）で預かってもらっている。

(委員)：保育園の事情しか知らないですが、保育園には本当にすごく助かっています。子育ての制度はあるが、仕事先では使えないのが現状。

(会長)：他に特になければ、これで終わりたいと思います。

(事務局)：今回は、6月26日（木）の予定です。